

土肥温泉旅館協同組合 地区防災計画 (地震・津波)

平成31年2月作成

土肥温泉旅館協同組合 地震・津波対策がんばる地域宣言

『宿泊者に地震・津波リスクへの啓発活動の強化』

そのため地域では、

- ・伊豆市と連携し、啓発文章をお客様へ配布致します
- ・静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合と連携し、情報収集に努めます
- ・当組合危機管理委員会を定期開催し、組合員に情報提供します

といった取り組みを、できる範囲で、地域のみみなでがんばっていきます。

いざという日に備える地域の取り組みルール

避難行動の考え方(反射的に動けるようになることが理想！)

大きなゆれがきたら・・・

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| 来訪者(屋外) | 指定避難ビルの中へ(屋外サインで誘導) |
| 来訪者(館内) | 高い階層へ避難(施設内誘導サインで避難) |
| 従業員(館内) | 自分の安全を確保した上で、
宿泊客をなるべく高いフロアへ誘導 |

さらに安心して来訪していただくために(今後の課題)

- 必要な備蓄・数量・保管場所(調査H30～)
- 一時的な避難後の宿泊客等の誘導方法
- 宿泊客の帰宅までのサポート方法
- 各施設による計画作成の支援方法
- 施設間や市役所との相互調整の方法(災害時の宿泊客リストの共有方法 等)
- より高度な避難誘導訓練等を行うための支援
- 新たな取り組みに必要な支援の提案(避難・備蓄のスペース確保、耐震診断の推進方法 等)

いざという日のために備えておく普段の取り組み

視点	取り組み	目標	備考	
共生する	地震・津波による被害状況の理解に資する情報発信	全施設所有者 (__19__人)		
	避難時間計測の推進	全施設所有者 (__19__人)		
	海のまち安全確保エリア、海のまち安全創出エリアの理解に資する情報発信	全施設所有者 (__19__人)		
	無線通信機器運用の手引き作成	平成30年度中	チャンネル操作・報告方法、時間外の代行の方法を整理	
	無線通信機器運用訓練の企画・実施	年__3__回	手引き記載内容の習得	
	避難誘導訓練の企画・実施	年__3__回		
	安心・安全への取り組みに関する情報発信	年__2__回		
	防災資源を組み合わせせたツアーの検討	平成31年度		
逃げる	設備等の固定するための情報提供	全施設数 (__19__施設)		
	津波避難が可能な施設の把握	全施設数 (__19__施設)		
	観光客のための避難誘導計画作成の推進	全施設数 (__19__施設)		
	津波避難誘導に係る研修実施状況の把握	全施設数 (__19__施設)		
	従業員の対応マニュアルの整備の推進	全施設数 (__19__施設)		
	避難路・避難場所の点検・管理	年__3__回		
	避難所や防災倉庫の点検・管理	年__3__回		
	津波避難に関する情報掲載の検討	年__6__回		

土肥温泉旅館協同組合 地震・津波避難施設マップ



土肥

【凡例】

避難施設

- 指定避難場所 (Purple dot)
- 津波避難タワー (Red dot)
- 津波避難ビル (Cyan dot)

全壊率(東側ケース)

- N/A (Grey)
- 0~20% (Yellow)
- 20~40% (Light Orange)
- 40~60% (Orange)
- 60~80% (Dark Orange)
- 80~100% (Red)

道路閉塞

- L2による道路閉塞70%以上 (Red line)

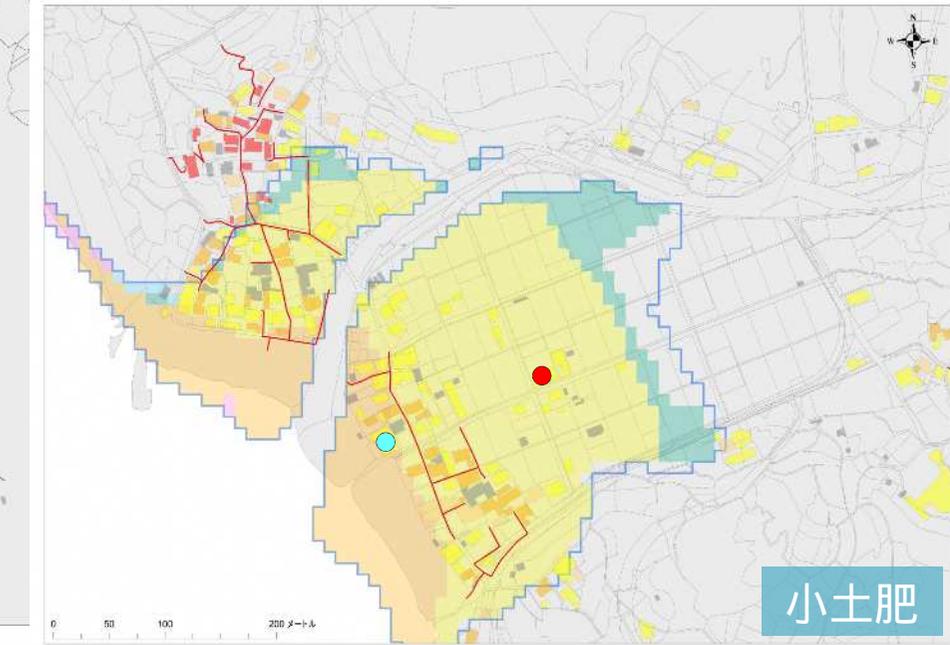
30cm津波到達時間

- 10分以上 (Light Blue)
- 9~10分 (Light Green)
- 8~9分 (Teal)
- 7~8分 (Yellow-Green)
- 6~7分 (Yellow)
- 5~6分 (Light Orange)
- 0~5分 (Red)

最大浸水範囲

- 最大浸水範囲 (Blue outline)

0 150 300 600メートル



小土肥